



■装着ホイールサイズ：FR17×7.0・30 ■装着タイヤサイズ：FR205/45



■装着ホイールサイズ：F17×7.0・30、R17×8.0・35 ■装着タイヤサイズ：F215/45、R245/40

OZ Racing Rally Racing

オーゼットレーシング・ラリーレーシング

OZ

📞 オーゼットジャパン ☎053-469-5011 <https://www.ozracing.com>

Rally Racing

SIZE	INSET (mm)	HOLE	P.C.D.	PRICE
17×7.0	35	4	98	¥47,000
17×7.0	30	4	98/100	¥47,000
17×7.0	37	4	98/100	¥47,000
17×8.0	35	4	100	¥49,000

SIZE：17×7.0・35はハブ専用純正ボルト仕様。17×7.0・30、17×7.0・37はスライド・ボルトキットでP.C.D98に変換可能。17×8.0・35はFIAT500,ABARTH500/595/695の設定なし

COLOR:ダークグラファイト+シルバーレタリング、レースホワイト+レッドレタリング(17×7.0・37はダークグラファイトのみの設定)



30年の時を超え、再降臨したレジェンド
現代風に進化した勇姿が愛車を変える

1988年のWRCでデビューを飾り、グループ専用モデルとしてセリカGT-FOURなどの足元を支えてきたラリーレーシング。悪路をトラバールなく駆け抜けることを目的に作られたディッシュタイプは、小石がブレーキにかまないように配慮するなど、見た目以上に機能が重視されていた。そんなWRCでの活躍を受けてコンシエールマへ市販したところ、一世を風靡するまでの存在に昇華する。その後一旦販売を終えるが、再び伝説のモデルを求めるファンの声が高まったことで、OZは各部の意匠を現代風に見直した新生・ラリーレーシングを世に送り出すことに。

カスタムユーザーがホイールに求めるものは何だろう。デザイン、機能性、軽さ、カラーリング……、人それぞれ思うところはああるはずだが、そのなかに「歴史」や「伝統」というファクターがあつてもいいのではないだろうか。復刻版を見て、そう思わずにはいられなかった。



ダークグラファイト+シルバーレタリング



レースホワイト+レッドレタリング



レースのために生まれた1本
徹底された機能美を味わう



伝統の意匠を重んじながらもスポーク裏にアンダーカットを施すなど、今風のあしらいもしっかりと取り入れている



「O・Z RACING」のロゴが大きくあしらわれたディスク面。キャップはカーボン



スポーク先端はリムに乗る形状。こちらよりメイクに伴って新たに生まれた部分



Rally Racingを履いた注目のデモカー



RED POINT

レッドポイント ☎058-370-5064
<https://www.redpoint.co.jp/>

見えないところに秘策がある達人のデモカー

岐阜を代表するメンテナンスファクトリーは、その名の通り真紅のデモカーをスタンバイ。トゥルッコとは対象的にダークグラファイトバージョンを取り入れたことで、引き締まった印象に仕上がっている。独自のパーツも多く、なかでもクワッドリードレジャーキットやマルチスパークアンプといった、エンジンパーツには一言あり。試乗しながらパーツが選べるので体験をオススメ。

TRUCCO

トゥルッコ ☎048-242-4610
<http://www.a-trucco.com/>

“やりすぎない美学”で洗練されたイメージに

ボディとの調和を考え、レースホワイト+レッドレタリングのモデルを合わせたデモカーを製作したトゥルッコ。「124スパイダーはFRなのでバランスを考えつつ攻めたい」と思い、リヤを太くしたそう。デモカー自体としては「やりすぎない」をテーマにしており、走りを磨きながらも元々備わっているエレガンスさを崩さないことを意識している。注目は消音機能付きのオリジナルマフラー。

